SHIMADZU
Excellence in Science

第58回 日本脂質生化学会大会

ランチョンセミナーのご案内

マラリア原虫による
ホスト赤血球膜改変と3次元的環境構築

日時　2016年6月9日（木）12:00～13:00

会場　秋田市にぎわい交流館AU（2F 展示ホール）

演者　徳舛 富由樹 先生　（東京大学大学院医学系研究科
リピドミクス社会連携講座　准教授）

ヒトのステージにおける赤内型マラリア原虫は、赤血球に侵入し成長・増殖して次の赤血球へと感染していく。原虫は血球内において、寄生胞膜という赤血球由来の膜に包まれながら、自分の脂質やタンパク質を供給して分子輸送システムを構築し、感染赤血球の膜構造や物性を刻々と変化させている。この原虫の成長に適した3次元的環境構築メカニズムは病原性と直接関係があり、そのバランスを変化または破壊することができれば、有効な抗マラリア薬剤開発の大きな一歩となる可能性がある。本セミナーでは生物物理的観点とリピドミクス的アプローチを使用した感染赤血球膜のモディフィケーションや膜分子ダイナミクスに関する研究を紹介する。

司会　奥村 毅　（株式会社 島津製作所　分析計測事業部）

お問合せ
（株）島津製作所　分析計測事業部　グローバルマーケティング部
〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1　TEL：075-823-1352